

令和8年4月16日

加美町長 石山 敬貴 殿

要 望 書

中新田地区商店街にぎわいづくり委員会
委員長 高橋 庸介

平素より地域振興および商店街活性化にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

私たち中新田地区商店街にぎわいづくり委員会は、宮城県「次世代型商店街形成支援事業」を活用し、関係機関や地域住民の皆様のご協力をいただきながら『中新田地区商店街にぎわいビジョン2026』を策定いたしました。

本ビジョンは「わたしたちの暮らしの真ん中にある商店街の挑戦」をテーマに、歴史と文化を礎としながら、地域コミュニティの中心となり、新たな商いの創出や挑戦可能な商店街の実現を目指すものです。

現在の商店街は、人口減少、店主の高齢化、空き店舗の増加など、民間の努力だけでは解決が困難な課題も多く存在しております。本ビジョンの実現には、行政と民間がそれぞれの役割を担いながら協働・協創によるまちづくりを進めることが不可欠です。

つきましては、何卒、本要望の趣旨をご理解いただき、格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

要望事項

1 中新田地区中心市街地の将来像を示す「ランドデザイン」の策定

中新田地区商店街および周辺エリアを対象とした、長期的なまちづくりの方向性を示すランドデザインの策定を要望します。

2 官民連携による「商店街活性化連携会議」の設置

行政・商工会・観光まちづくり協会・商店街関係団体等による定期的な連携会議を設置し、課題共有および施策検討を官民一体で進める体制づくりを要望します。

3 歩いて楽しい商店街の環境整備

ベンチや休憩スペースの設置、トイレ環境の整備、駐車場案内看板、景観整備など、歩いて回遊できる商店街環境の整備への支援を要望します。

4 空き店舗活用・創業および事業継承支援の強化

空き店舗の増加は商店街の存続に関わる重要な課題です。創業支援、事業承継支援などの施策の強化を要望します。

5 地域ブランドづくり

中新田の歴史文化や個店の魅力を創出するため、「中新田」地域ブランドを形成し、町の掲げる観光施策との連携を要望します。

中新田地区商店街は長い歴史の中で地域の暮らしを支えてきた場所であり、今後も加美町の中心として重要な役割を担うものと考えております。